



6 月 3 日に小槌第 7・8 仮設団地付近で 2 年ぶりに開催された「大槌町消防団消防演習」

平成 24 年

◆ 第 2 回 定 例 会

◆ 第 5 回 臨 時 会

◆ 第 6 回 臨 時 会

紙 面 内 容

- 審議された議案・議会の動き・・・②～③
- 一般質問の内容・・・・・・・・・・・・④～⑦
- 組合議会報告・審議された議案等・・・・・・・・⑧

第2回定例会

一般質問に4議員が登壇

平成24年第2回定例会は、6月8日から13日までの6日間の会期で開催されました。今期定例会には、災害の記憶を風化させない事業基金条例の制定、東日本大震災の被害者に対する町税の減免に関する条例の一部改正及び平成24年度の各会計補正予算など議案15件が提案されました。また、一般質問には、4議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をたどりました。

◆議案―*

◎大槌町監査委員の選任
につき同意を求めること
：佐藤稲満氏を再び選任
することに同意を求めた
ものです。
(賛成多数・原案同意)

◎大槌町固定資産評価審
査委員会委員の選任につ
き同意を求めること：小
林伸彰委員が任期満了と
なることから、家子と男
氏を新たに選任すること
に同意を求めたものです。
(賛成多数・原案同意)

◎災害の記憶を風化させ
ない事業基金条例の制定
：東日本大震災による様

死者の鎮魂及び災害の記
憶を未来永劫に継承して
いくため、鎮魂の森公園
の造成及び観光船「はま
ゆり」復元の財源に充て
るため、新たに基金を設
置するものです。
(賛成多数・原案可決)

◎大槌町道路占用料徴
収条例の一部を改正する
条例：岩手県の道路占用
料徴収条例が平成24年4
月1日に施行されたこと
に伴い大槌町道路占用料
徴収条例の一部を改正す
るもので、占用料等が減
額となるものです。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町印鑑条例の一
部を改正する条例：地方
税法等の一部を改正する
法律の施行により、町民
税の申告において、年金
所得者の申告手続きを簡
素化するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町印鑑条例の一
部を改正する条例：住民
基本台帳法等の一部を改
正する法律の施行により、
外国人に対する規定を見
直すものです。
(全員賛成・原案可決)

◎東日本大震災の被害
者に対する町税の減免に
関する条例の一部を改正
する条例：国民健康保険
税の減免期間を本年9月
まで延長するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎町道の路線認定、廃止
及び変更：道路法の廃
止及び変更するもので
す。
(全員賛成・原案可決)

◎岩手県後期高齢者医
療広域連合規約の一部変
更の協議に関し議決を求
めること：住民基本台帳
の一部改正により、岩手
県後期高齢者医療広域連
合規約の変更を行うもの
です。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町一
般会計補正予算(第2号)
を定めること：震災復興
事業の赤浜地区防災集団
移転促進事業等を補正し、
予算の総額を300億9
865万2千円とするも
のです。

(全員賛成・原案可決)
◎平成24年度大槌町国
民健康保険特別会計補正
予算(第1号)を定める
こと：震災の被災による
保険税の還付金を補正し、
予算の総額を18億607
6万9千円とするもので
す。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町下
水道事業特別会計補正予
算(第1号)を定めるこ
と：大ケ口地区災害公営
住宅に関する管渠整備等
を補正し、予算の総額を
19億9525万4千円と
するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町漁
業集落排水処理事業特別
会計補正予算(第1号)
を定めること：新築家屋
への公共ます設置工事等
の増額を補正し、予算の
総額を7億2578万4
千円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

議会の動き

(5月)

2日	会派代表者会議
8日	会派代表者会議
9日	大阪府泉南市議会 行政視察
10日	大阪府議会、大阪市 議会表敬訪問
11日	大阪府河内長野市 議会行政視察
14日	総務教民常任委員会 平野達男復興大臣と の意見交換会
16日	産業建設常任委員会 大分県別府市議会 行政視察
17日	全員協議会
18日	議会報編集特別委員会 議会運営委員会
21日	東部町村議会議長会 定期総会(普代村)
24日	第5回臨時会 議会運営委員会 大阪府富田林市議会 表敬訪問
25日	岩手県町村議会議長会 議員研修会(盛岡市)
29日	全国町村議長会議長・副議 長研修会(東京都・30日)
30日	矢巾町議会行政視察 総務教民常任委員会 産業建設常任委員会 (6月分)
3日	消防団消防演習

◎大槌町水産物生産流通施設の管理を行う指定管理者の指定：条例の規定により新おおつち漁業協同組合を当該施設の指定管理者に指定するものです。
(賛成多数・原案可決)

◇臨時会—*

第5回臨時会

平成24年第5回臨時会は、5月24日に開催されました。

◎大槌町町税条例の一部を改正する条例の専決処分：地方税法等の一部を改正する法律等が平成24年4月1日から施行されることに伴い、大槌町税条例の一部を改正する条例を3月31日付で専決処分したことから報告し、議会の議決を求めるものです。
(全員賛成・原案承認)

◎大槌町水産物生産流通施設の設置及び管理に

関する条例の制定：地域産業の活性化に資するため、「魚場荷捌き施設」、「製氷貯水施設」、「さけますふ化施設」の3施設を町が施設管理者となり、施設の運営は指定管理者制度による指定管理を行うため本条例を制定するものです。
(賛成多数・原案可決)

◎工事請負契約の締結

：震災による津波で被災した一級町道大ヶ口線ほか24路線の道路災害復旧工事の契約を締結するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町一般会計補正予算(第1号)

を定めること：復興交付金事業の防災集団移転促進事業に係る計画作成業務委託料等を補正するものです。
(全員賛成・原案可決)

第6回臨時会

平成24年第6回臨時会は、7月4日に開催され

ました。

◎大槌町すこやか子育て医療費給付条例の制定

：所得制限を撤廃し、医療費助成の対象年齢を小学校就学前から中学校卒業時まで拡大しようとするものです。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町役場位置に関する条例の一部を改正する条例

：東日本大震災津波により役場庁舎が壊滅したため、現在、緊急的に用意した仮設ハウスを庁舎として使用している旧大槌小学校を改修して応急的に庁舎とし、役場の位置を変更するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町部局設置条例の一部を改正する条例

：当町の復興の取組において、総合的な企画及び調整などを担う部門を創設するものです。また、産業振興部の所掌事務である国土調査業務について、土地利用の総合的な観点

から地域整備部に所掌事務を移行するものです。
(賛成多数・原案可決)

◎工事請負契約の締結

：東日本大震災津波により被災し、汚水処理機能を失っている漁業集落排水処理施設のうち、処理場の土木施設及び建築施設を復旧するため、工事を実施するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎工事請負契約の締結

：東日本大震災津波により被災し、汚水処理機能を失っている漁業集落排水処理施設のうち、処理場の電気設備を復旧するため、工事を実施するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)

を定めること：漁業集落排水処理事業計画調査設計業務委託料を補正するものです。
(全員賛成・原案可決)

(全員賛成・原案可決)

◎損害賠償の額の決定及び和解

：吉里吉里一丁目で行行中、道路上のグレーチングを踏んだ際、車両に損傷を与えたものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町一般会計補正予算(第3号)

を定めること：復興まちづくり会社出資金等を補正するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

を定めること：下水道事業計画調査測量業務委託料を補正するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)

を定めること：漁業集落排水処理事業計画調査設計業務委託料を補正するものです。
(全員賛成・原案可決)

5日	議会運営委員会 全員協議会
7日	岩手沿岸南部広域環境 組合議会臨時会(釜石市)
8日	第2回定例会(13日) 政務調査会総会
9日	戦没者追悼式典
12日	議会運営委員会 総務教民常任委員会
13日	議会運営委員会
27日	長野県長和町議会 行政視察
29日	総務教民常任委員会 議会運営委員会 (7月)
4日	第6回臨時会 議会運営委員会 全員協議会
5日	釜石大槌地区行政事務 組合臨時会(釜石市)
10日	三陸縦貫道道路要望 (仙台市・東京都11日) 岩手県後期高齢者医療 広域連合(盛岡市)
12日	静岡県掛川市行政視察 岩手沿岸南部広域環境組 合行政視察(静岡県13日)
17日	第7回臨時会 議会報編集特別委員会 政務調査会研修会
20日	東日本大震災の早期復 興に関する要望(東京都)
24日	岩手県議会行政視察
25日	高知県議会行政視察



小松 則明 議員

町民に細やかな情報発信を

情報プラザを設置

【問】消防団活動マニュアルが配布になったが、これが最終のマニュアルなのか、内容が不十分ではないか。

【答】（平野総務部長）平成24年3月9日付で総務省消防庁からの「津波災害時の消防団活動安全管理マニュアル等」で定めるべき事項」に準じ、さらに当町の現状に合わせたかたちで5月11日の分団長会議に諮り作成したものである。

本指針は、津波災害時の消防団活動における消防団員の安全を確保するために、適時に見直しを行う事としている。

【問】町復興に当たり町当局の進み方が遅いとの声を耳にするが、大植町は現時点でどのような自己評価をしているか。

【答】（碓川町長）復興計画並びに復興事業への取組が十分に住民の方々にお伝えすることができず、町当局の進捗状況がよくわからないとお叱りも受けてきたが、復興関係の情報をワンストップでお伝えする情報プラザを設置し、今進行している復興状況を住民の方々に、より迅速に伝える。

【問】町内の浸水地外の土地価格の上昇を抑制する

ために町の対策は。

【答】（川野都市整備課長）一部地域におきましては、需要と供給のバランスから被災前と比較して上昇している箇所もあると聞いている。今後財政課と協議をして検討する。

【問】災害公営住宅の着工を目前にしているが、被災住民は自分が住む住居スペースがどのくらいになるのか心配している。町の考えは。

【答】（土橋地域整備部長）災害公営住宅の間取りについては、世帯構成等を考慮し、災害公営住宅に関し再度アンケートを

行い、調査結果を踏まえて整備を行う予定である。また、町方には3か所の大きな災害公営住宅を考えている。

【問】こころのケアについて、未だ心の傷を癒せず過ごしている町民の方々への今後の対応は。

【答】（門脇民生部長）保健師、専門医、また、地域包括支援センターの方々にも講習会などをし、長期に渡る状況把握と継続的な支援をしていく。

【問】今、立ち上がろうとしている町内の事業者への今後の支援は。

【答】（熊谷産業振興部長）被災以後、町においては、町単独の「被災事業者再開支援事業補助金」の交付や、独立行政法人の中小企業基盤整備機構が整備した仮設施設の入居促進等により、町内事業者の早期の事業再開を支援してきた。今後、「中小企業被災資産復旧事業補助金」や「グループ補助金」の周知等に努める。

定例会・臨時会 議員出欠表

議席番号	議員氏名	第2回定例会 (6/8～13)		第5～6回 臨時会	
		出席	欠席	出席	欠席
		1	三浦 諭	3	0
2	芳賀 潤	3	0	2	0
3	東梅 守	3	0	2	0
5	阿部俊作	3	0	2	0
6	東梅康悦	3	0	2	0
7	小松則明	3	0	2	0
8	里館裕子	3	0	2	0
9	金崎悟朗	3	0	2	0
10	後藤高明	3	0	2	0
11	岩崎松生	3	0	2	0
12	野崎重太	3	0	2	0
13	阿部義正	3	0	2	0
14	阿部六平	3	0	2	0

盛土等の表示はできないか

場所時期を考慮し対処する



東梅 康悦 議員

【問】盛土の高さや居住地と非居住地の境界を表示する等、誰にでもわかりやすい土地利用計画の表示はできないか。

【答】（碓川町長）被災者や住民の方々にとって戸惑いがないよう、また説明会の内容とそこが生じないように対応することが必要と考えている。

盛土の高さや居住地と非居住地の境界を表示する標識は、設置する場所や時期など考慮しながら、適切に対処する。
また、各地域における情報の表示に加えて、多くの皆様が足を運びやすい場所（マスト）に「情報

報プラザ」を開設する。

【問】大槌町農業における放射性セシウムの影響について。

①放射性物質の被害を受けている畜産・しいたけへの対応は。

②町内生産農作物への放射線量の検査への検査費用への支援は。

【答】（熊谷産業振興部長）

①畜産業への対応は、県の除染対策事業を活用して実施する。除染作業に大型トラクターなどが必要なことから、大槌町畜産振興公社が一部作業を農家の代わりに行いたい。牧草の供給については、全農の代替粗飼料対策事

業によって畜産振興公社が窓口となり、畜産農家へ販売することとなる。

しいたけへの対応は、県及び関係団体等と連携して実施する「きのこ原木等処理事業補助金」、

「原木しいたけ経営緊急支援資金貸付金」及び「しいたけ等原木供給促進資金」等の対策により経営を支援する。

②放射線量の検査については、農協や産直施設等に出荷される生産物を主体に地区別に検査を実施する。その検査結果を生産者に周知することにより、不安解消に努めていきたい。検査については、町が実施することから、生産農家の負担はない。

【問】今年産の乾燥しいたけはどうなるのか。また、規制値を超えたほだ木の取り扱いと今後のほだ木の調達は。

【答】（熊谷産業振興部長）今年産の乾燥しいたけは、最終的には東京電力

に補償の請求をする。規制値を超えたほだ木は補助事業を利用して、一時保管及び処分等を行いたい。ほだ木の確保については、農協等と今後協議していく。

【問】児童・生徒の通学路について

①仮設学校への通学路の問題点をどのように捉えて、どのような対策をとるのか。

②仮設学校への通学路となりうる臼澤橋への歩行者専用橋の設置は、今後の当該地域の土地利用を考えると必要と思うがいかがか。

【答】（二宮教育部長）①仮設学校への児童・生徒の安全確保のため、学校での安全教育をはじめ、6月1日時点で、交通保安員20名、スクールガード3名を配置することで、児童・生徒の登下校の安全確保に努めている。

②臼澤橋については、道幅が狭く、各種土木工事

の実施に伴い大型車の交通量が増加している現状であると認識している。

また、臼澤橋の通学路としての利用にあたっては、歩行者専用橋の設置が最善な方法ではあるが、多額の費用、期間を要するところであり、当面は、交通保安員を重点的に配置することに加え、学校・PTA、釜石警察署大槌交番等関係機関と連携を図りながら、さらなる安全確保に向けた対策の検討を早期に進めていきたい。

【問】児童・生徒の通学路について

①仮設学校への通学路の問題点をどのように捉えて、どのような対策をとるのか。

②仮設学校への通学路となりうる臼澤橋への歩行者専用橋の設置は、今後の当該地域の土地利用を考えると必要と思うがいかがか。

【答】（二宮教育部長）①仮設学校への児童・生徒の安全確保のため、学校での安全教育的をはじめ、6月1日時点で、交通保安員20名、スクールガード3名を配置することで、児童・生徒の登下校の安全確保に努めている。

②臼澤橋については、道幅が狭く、各種土木工事

議会を傍聴しませんか
9月定例会は9月7日（金）
開会予定です。



芳賀 潤 議員

人口減少対策のビジョンは

さまざまな事業を取り組み食い止める

【問】復興実施計画を策定するに当たり、最も重要なソフト面の人口減少対策のビジョンは。

【答】（碓川町長）

少子高齢化対策、住環境対策、産業振興対策、様々な取組の中で対策を行っていく必要がある。水産業は生産基盤の早期復旧と漁協の経営支援、水産加工団地の整備。商業、工業及び観光業は新たなまちづくりと連動した商業集積の形成、企業間交流の活性化、「おおつち型観光」の確立、起業の促進による雇用創出。農林業は生産基盤の有効利用、地域特性を活かした産地形成、復興需要を

契機とした高次加工と流通・販売の促進。これらの取組を強力に進めていくことで、人口減少を食い止め、豊かにまちづくりを進めていく。

【問】防災集団移転促進事業・土地区画整理事業について。

①個別の権利等の対応策について。
②地域づくり合意形成の方法・時期について。
③土地区画整理事業地域を一括買取りをしないのはなぜか。

【答】（碓川町長）

①国土調査未実施地区も多く存在する。そのため実際の地積と公簿上の

地積が一致しない箇所も多く想定される。公簿上と実面積に相違がある土地の買収方法の課題もある。

②9月中の国交大臣同意や都市計画決定を目指している。両事業とも、

7月末から8月上旬頃が合意形成の目安。合意形成の方法は住民説明会を重ね、各地域の役員や住民の方々の御意向を確認し概ねの合意をいただく。
③土地区画整理事業は、事業区域の地権者が各自の土地の一部を提供し合い、道路や公園等の公共施設用地を確保し、かつ自らの土地の区画を整え区域全体の適正な土地利用となるよう整理してい

く事業であり、買取が前提でないことを理解いただきたい。

【問】県立病院再建の現在の取組状況について。

【答】（門脇民生部長）

5月16日に釜石保健所において「釜石保健医療圏における医療提供体制に係る検討会」が開催され、県側から「本年度中に再建する機能や規模、再建場所について、大槌町を含めて検討したい」との方針が示されている。県立大槌病院及び町内の開業医の皆様と、再建場所のあり方について意見交換の場を設けており、現在一定の方向性が見え

つつある。

【問】吉里吉里小中学校の学校施設防災拠点整備事業等の具体的な内容について。また、地域における学校は地域のニーズを拾い上げているのか。

【答】（二宮教育部長）

事業内容は、耐震化された受水槽の整備・停電時の非常用電源設備の設置・防災備蓄庫の設置となっており、学校が避難所となった状況下で必要となった最低限の施設を整備しようとするものである。

今後地域のニーズの確認方法等も含め防災部局と協議を行いながら、

防災拠点として有効に機能する学校整備に努める。

【問】災害による瓦礫（未処理）の対応が未だに手つかずの状況であるが、公的に伐採等の処理を進めないと、景観上も悪く、倒木等も考えられる。今後の町における伐採等の処理について。

【答】（熊谷産業振興部長）

国の森林整備事業を活用して、23年度7.46haの除伐を実施しているほか、24年度から5haの間伐を実施する予定。

民有地は、除伐間伐に要した費用について山林所有者に補助制度もある。広報等を通じて周知する。

役場職員配置に問題はないか

業務過多・環境整備に改善を図る



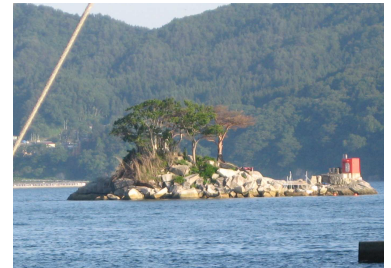
阿部俊作議員

【問】町の復興重点目標は。

【答】(碓川町長)

将来像「海の見えるついで散歩したくなるこだわりのある「美しいまち」を実現するため、「おおつちの未来を創る5つの重点プロジェクト」の推進を掲げている。

第1「復興まちづくり創造おおつちプロジェクト」。第2「歴史・文化・芸術の街おおつちプロジェクト」。第3「国際研究都市おおつちプロジェクト」。第4「美しい街なみ・景観おおつちプロジェクト」。第5「スマートタウンおおつちプロジェクト」。



赤浜漁港からひょうたん島を望む

り組みは、観光、漁業、農業、工業、商業、教育とつながり、本町復興のコア(核)が必要となる。

【問】放射能除染対策について。

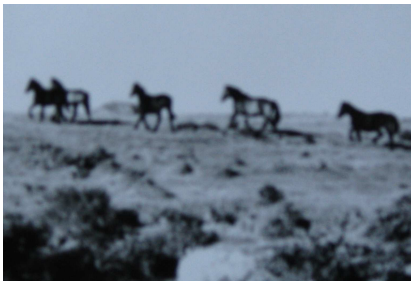
①当町の汚染の状況と基準値を超えた農産物、牧草の保管はどのようになっているか。

②当町の除染の対策は

【問】町民が採取した山菜などをすぐに検査する体制を町内に欲しいという声があるが。

【答】(熊谷産業振興部長)

①昨年6月新山牧野の牧草が当時の暫定基準値を上回る放射性物質が検出され、その牧草は現在大槌町畜産公社の敷地内に保管している。他の農産物(米、野菜)は県でモニタリングしている。現在基準値を上回るものはないが、農家、自家消費のため作付けしている方の不安を解消するため町において地域ごとにサンプリング検査実施を検討している。



昭和30年代の新山高原(撮影 三浦勝男氏(小枕))

②新山高原の採草地は県事業により本年度中に除染作業を実施する。

③検査機器を購入した場合の設置場所の確保、検査を行う専門職員の配置が困難である。

【問】高台移転と市街地構築は。

【答】(熊谷産業振興部長)

高台移転地域の「農業振興地域」指定は「虫食い状態」の乱開発を回避する必要上、ある程度申請件数をまとめた上で、農業振興地域の変更、農地転用の事務を進めている。

【答】(川野都市整備部長)

「これからの市街地計画の示し方」について国道、県道、JR、NTT、公安委員会等関係機関と協議し地域役員と調整しながら、住民の方々の意向を確認し計画案を提示したい。

【問】職員配属転換について。

【答】(平野総務部長)

無理を押しつけての執務に当たってきた職員的心労に大変憂慮している。職員が働きやすい環境整備、業務過多の状況の改善を図り、効果的・効率的な組織再編を実施していきたい。

【問】学校統廃合と小中一貫教育校について。

【答】(二宮教育部長)

文部省初等中等教育局長・管理局長名の「公立小・中学校の統合について」という通知には「学校統合を計画する場合には、学校の持つ地域的意義等をも考えて、十分に地域住民の理解と協力を得て行うよう努めること」とされている。

説明会、懇談会への参加が少なかった状況は認識している。今後より一層丁寧な説明を行い4校統合、小中一貫教育校の理解を深めたい。

岩手県沿岸知的障害児施設組合

東梅 守議員報告

去る3月21日に岩手県沿岸知的障害児施設組合定例会が、1日の会期で開催され、付議事件は3件、いずれも原案のとおり可決された。

平成23年度一般会計補正予算(2号)については、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6千円を追加し、歳入

岩手沿岸南部広域環境組合

岩崎松生議員報告

去る6月7日に岩手沿岸南部広域環境組合臨時会が、1日の会期で開催され、付議事件は議案2件で、いずれも原案のとおり承認された。

組合議会議長の任期満了に伴う議長選挙については、指名推選により、大船渡市議会選出の三浦隆氏が選任された。

昨年の人事院勧告に伴い、構成市町同様、職員給料表を、中高齢層に

町村職員健康福利機構」に法人名称を変更することに伴う、関係条文中に

ある法人の名称を改める「岩手沿岸南部広域環境組合職員互助会に関する

条例及び岩手沿岸南部広域環境組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決

処分に関し承認を求めること」については、承認

された。管理者から、平成23年度岩手沿岸南部グリーンセンターの状況として、平成23年4月11日の再稼働以来、大きな故障もなく、3月まで災害

ごみを含め3万5432トンのごみを受け入れ順調に稼働しており、特に災害ごみの処理については、一般ごみの状況を見ながら最大限受け入れる

こととして、他自治体や太平洋セメントなどで受入れることのできない、多くの塩分や泥を含んだ豊や衣類など、総量の約2割となる7698トンを受け入れたこと等の報告がありました。

◇ 報告 — *

◇ 請 願 — *

《不採択となった請願》

◎公的年金の改悪に反対する意見書提出を求め

る請願：政府は税と社会保障の一体改革のなかで、私たちの生活にかかわる多くのことを改悪しようとしている。特に公的年金の「特例水準解消・2.5%削減」を行わないよう国に意見書を求めた請願です。

◎被災した大槌町旧役場とその周辺の現状保存を求める請願書：津波の怖さを一目瞭然と後世に伝え、子孫の命を守り、国内外からの訪問者、弔問者による慰霊の場所とするため、被災した大槌町旧役場とその周辺の現状保存を求めた請願です。(大槌被災現場永久保存実行委員会代表坂本真一)

◎損害賠償額の専決処分の報告：大槌町仮庁舎駐車場でハンドル操作誤りにより発生した一般車両への物損事故による損害賠償です。賠償額は5万7277円です。

◎緑越明許費緑越計算書：平成23年度大槌町一般会計緑越明許費で、国の第3次補正予算に係る緑越事業で、共同利用漁船等復旧支援対策事業、行政機能応急復旧事業、消防防災設備災害復旧事業等20件、合計30億378万3千円を平成24年度に繰り越したことを報告したものです。

◎緑越明許費緑越明細書：平成23年度大槌町下水道事業特別会計緑越明許費で、公共下水道災害復旧事業1件、災害査定及び国庫負担金の交付決定の時期等により、5億6522万6千円を平成24年度に繰り越したことを報告したものです。

編集後記

▼こどもが「エンズイって、何と説明したらいい」と聞いてきた。エンズイ、大槌の方言かな。▼辞書には言葉と意味の合う文字は無い。「ウーン、体に合わない、しつくりこない、邪魔になる：自分ではエンズイの状態は分かるが、説明はとにかくエンズイのよ。」便利な言葉だが説明は難しい。

▼町民の声を議会に届け、その報告書とも言える議会報告。▼みんなが分かる言葉で短くまとめ知らせることは難しい。多様な日本語を組み合わせてうまく説明できない。▼議会報告だけでは分からないことがある。皆さん、議事を傍聴しよう。(俊作)

議会報編集特別委員会
委員長 東梅康悦
副委員長 金崎悟朗
委員 里館裕子
委員 阿部俊作
委員 三浦 諭